



逃 厚岸町避難訓練
げろ！津波だ！

10月17日、十勝沖から根室沖までを震源とする日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震発生による、大津波警報が発令されたことを想定した『厚岸町避難訓練』を行いました。

訓練開始を知らせる防災行政無線が不具合により流れなかったため、多くの町民が戸惑い、訓練に参加したのは216人と昨年の342人に比べ少ない参加となりました。訓練に参加した人の中には、非常持ち出し袋を持って避難した人も。最後に参加者へ備蓄用の缶詰パンと飲料水が配られました。

厚 第7回あっけし産業感謝祭
岸の海と山の恵みに感謝

厚岸地域産業振興協議会主催の『第7回あっけし産業感謝祭』が9月27日に厚岸漁港荷捌所内特設会場で開催され、新鮮な海の幸や山の幸を求めたくさんの人で、会場が埋め尽くされました。

農産物や魚介類の販売のほか、ステージでは牛乳早飲み大会や海産物セリ大会などのイベントを開催。サンマのつかみ取りやジャガイモの詰め放題には多くの人が集まり、厚岸の海と山の恵みに感謝した祭りとなりました。



遺 井上耕介氏慰霊祭
徳をしのんで

10月15日、1908年3月に片無去で猛吹雪に遭い殉職した、釧路税務署員井上耕介氏をしのぶ慰霊祭が行われました。

井上耕介先生奉賛会(室崎正之会長)が主催となり毎年行っているもので、税務関係者など約40人が参列し、祭壇に玉串をささげ冥福を祈りました。

井上氏は税法の大改正を知らせるため、釧路から厚岸へ向かう途中で猛吹雪により遭難し、重要書類を着衣で包みその上から自分の身で覆って守り抜き、職責を果たしました。



夢 キノコの森づくりと炭づくり体験会
ヤガイモもいっぱいとれたよ

9月26日、森林センターで『キノコの森づくりと炭づくり体験会』が行われ、42人が参加しました。

はじめに、移動式炭化炉による炭づくりを体験。ミズナラの木をみんなで詰め込んで、点火まで行いました。

5月にシイタケの菌駒を植えたミズナラのほだ木150本の本伏せ作業を行った後、園内にある畑でジャガイモを収穫。子どもたちからは「イモ掘り楽しい!」との声。最後に全員でキノコ汁とジャガイモの塩煮を食べ、秋を満喫しました。



イベントや活動など、まちのニュースをお届けします



秋 第53回あっけし牡蠣まつり
の味覚を満喫

10月3日から12日まで、子野日公園を会場に『第53回あっけし牡蠣まつり』が開催されました。8日は台風の影響により中止となりましたが、期間中には約3万4千人が訪れました。

毎年恒例のカキやアサリ、サンマのつかみどりには長い列ができ、ステージ前では参加者の家族や仲間がたくさん集まって、写真撮影や応援する姿も。

11日は小雨まじりで肌寒い日でしたが、訪れた人は冬の装いで焼き台を囲み、カキやシイタケなどの厚岸の味覚を堪能。お笑い芸人神奈月さんのステージも行われ、会場は大いに盛り上がりました。

恒 厚岸町戦没者追悼式
久の平和を誓いました

10月5日、『厚岸町戦没者追悼式』が社会福祉センターで行われ、本町出身の245人の戦没者の霊を慰めようと、遺族や関係者約70人が参列しました。

遺族会の稲井正義会長は追悼の辞で「今年は戦後70年。戦争は非情な行為であり、決して忘れてはならない。戦争があった事実を知らない若者も多く、次の世代に伝えていかなくてはならない」と述べました。追悼吟詠が行われた後、参列者全員で祭壇に献花し、戦没者の冥福を祈りました。



青 第20回町民ファミリーマラソン大会
空の下、走りきる

晴れ渡る秋空となった体育の日の10月12日、『第20回町民ファミリーマラソン大会』が行われ、3歳から65歳までの59人が参加しました。

体力の向上と世代間の交流や親睦を深めることを目的に毎年行われており、宮園公園周辺を走る1・5キロ、3キロ、4キロのコースから、自分の体力に応じた距離を選んで走りました。

沿道からの声援を受けながら一生懸命走りきり、全員完走しました。